

「経済社会で生きる私たち」教材ガイド

本教材の趣旨

本教材は、日本語を母語としない学習者にも学びやすい教材を目指して作成されました。社会科「公共」領域のいくつかのトピックについて、日本語を母語としない学習者が「読んでわかる」教材となることを目指して作成されています。

そのため本教材では「**やさしくざっくり**」を心掛けました。記述に際しては論理構造を明確化・簡素化し、表現においては複文を避けた平明な日本語を基本とし、適宜、ふりがなや英語も交えています。

学校現場での使用方法としては、**授業の予習復習として**本教材を使うことができます。また、本教材を**他言語に翻訳して**使用することもできます。単文表現で構成されていますので、Google 翻訳や DeepL などの機械翻訳サイトでも、翻訳がなされやすいかと思われます。また、各ユニットの末尾には**英語での全訳**を付していますので、英語でのアクセスのほうが容易な場合には、末尾の英訳版をお使いください。

各教材の構成ですが、教材の冒頭で「**本日のテーマ**」「**キーワード**」を提示し、本文は**一問一答形式**によって記述されています。最後部には、学習内容のまとめとして、また、自身の考えを表現するものとして、「**記述コーナー**」を設けてあります。本教材は「やさしくざっくり」を旨としておりますので、本教材で扱われていない内容については、適宜、授業の中で取り上げて頂ければ幸いです。

本単元の内容

本単元では、**経済にかかわる内容**に焦点をあてます。扱われている具体的なテーマは以下の通りです。第1回では**経済活動の基本的な事項**について、第2回では**利害対立の解決における国家と市場の役割**について、解説しています。第3回においては、**ダイナミック・プライシングの話題**を取り上げながら、基礎事項の確認に加えて、**自分の意見をまとめる活動**を用意しています。また、第4回においては「消費者の権利と責任」と題して、生活の具体的な場面を取り上げたワークが用意されています。**外国籍の人々が直面しやすい困難**を取り上げているので、ぜひご活用いただければ幸いです。

「世界の中の私たち」

第1回 経済活動がわかる

第2回 利害対立がわかる

第3回 ダイナミック・プライシングについて考えよう

第4回 消費者の権利と責任